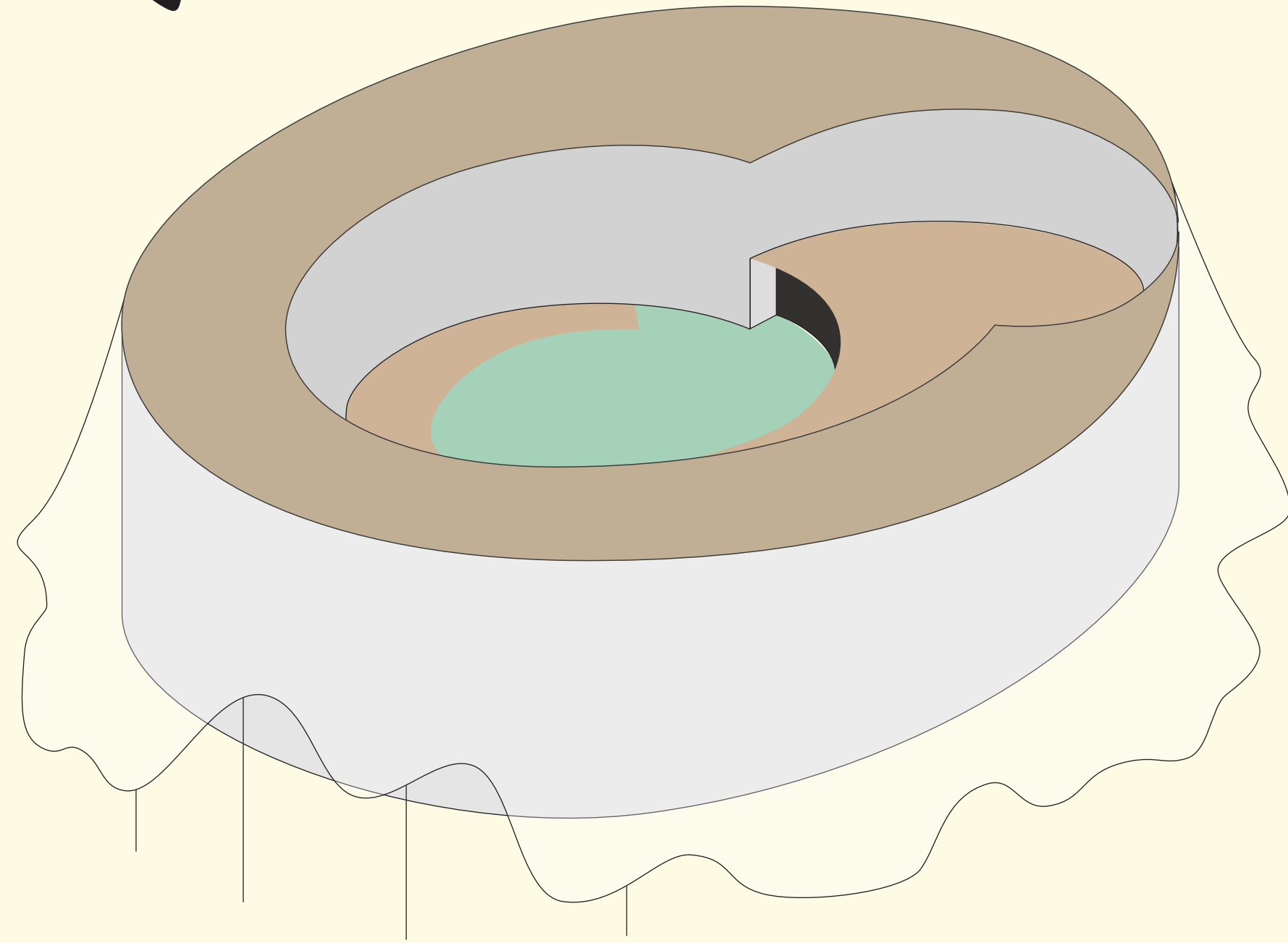


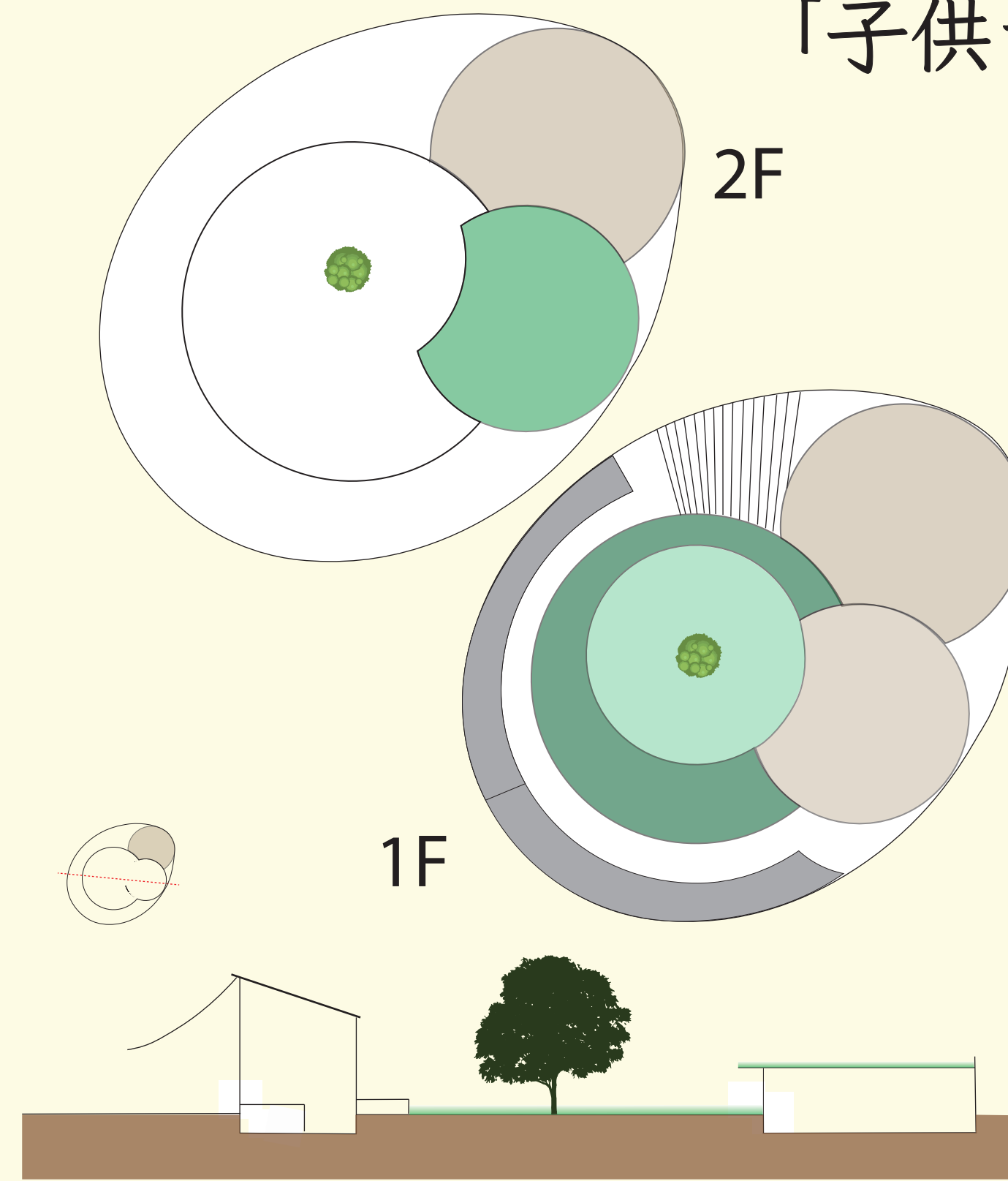
親と子のGround Level



「子供がいるから」 できる経験を コンセプト

子供を持つ親の間では、「子供がいるから出
かけられない場所などが増えた」「子供がいる
から自分の時間はほとんどとれない」といった
声が多くきかれる。この建物は「子供がいるから
～できない」ではなく「子供がいるから～できる」
という経験を与える場。私たちは、いろいろな人
の人生の基礎”Ground Level”に、新たな体験
を積み重ねることができる施設を設計した。

子供が遊ぶことができる見通しの良い中庭を中
心に、周りを囲むように文化交流施設を配置。
上空から見るときれいな曲線を描いた外観は
中庭を核とした卵のように見える。特徴的な丸
い多目的ホールや、開放感あるスキップフロア
には可動性の高い机や椅子が配置され、その
時々の用途によって形を変えながら使用するこ
とのできる空間となっている。週末には親子参
加のイベントや、大人が息抜きをするための大
人向けワークショップ等様々な催しが開催され
る。縁側や机などを多数配置したゆとりのある
作りで地域の子育て世代の交流拠点となる。



遊び心のある室内

1. スキップフロア

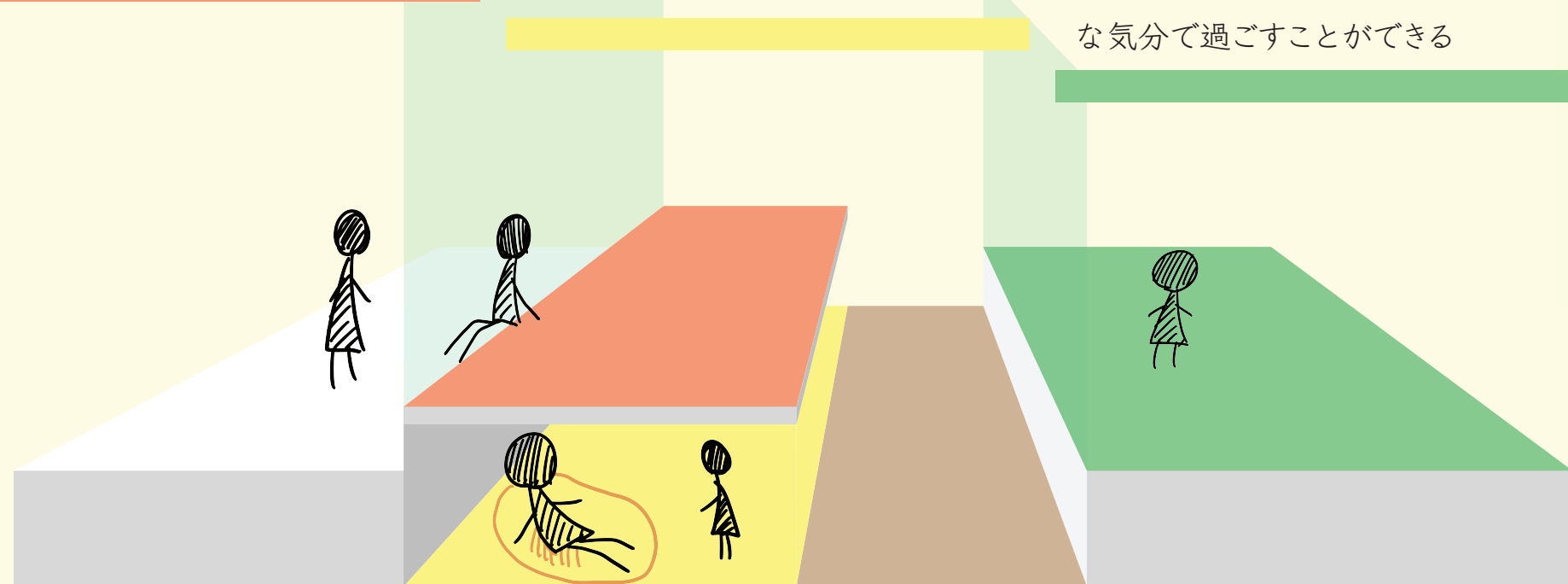
建物を地面から1m掘り下げた半
地下構造とスキップフロアを併用す
ることで様々な高さの床を持った空
間ができる。スキップフロアは2種類
の高さがあり、1.4mのスキップフロ
アは外へ向かう縁側として、またそ
の下の空間を形成する者として二つ
の役割をはたしている

2. 開放感と安心感

施設の天井高は3.5mと高く、吹
き抜け部分も多いため上に抜けた気
持ちの良い空間が広がっている。一
方、施設下部にはスキップフロアの
下の空間を活用した洞窟のような
居場所が存在する。あえて天井の低
い狭い空間を作ることで、秘密基地
のように落ち着ける場所となっている

3. 視線の違いを楽しむ

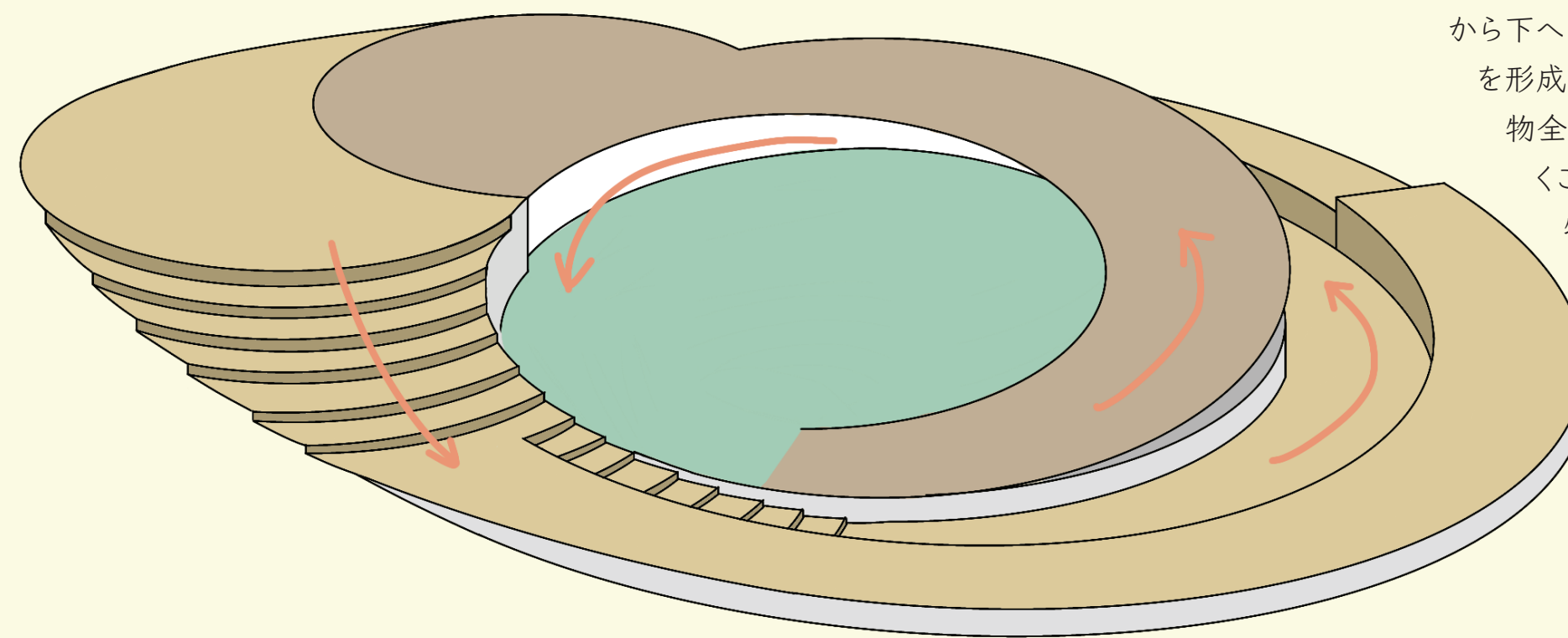
大人よりも身長が低い子供は普
段大人の顔を見上げながら生活し
ている。施設内外の高低差により、大
人が施設内から中庭をのぞくと見え
る景色は子供の視点に、子供が中
庭から施設内をのぞく時は大人の
視点になる。元気に遊ぶ子供を見上
げながら、見守ってくれる大人を見
下ろしながら、普段とは違った新鮮
な気分で過ごすことができる



行き止まりのない動線

この建物の中庭をぐるっと囲むスロープと、2階部分
から下へと続く階段により、行き止まりの無い動線
を形成した。利用者はこの道を進みながら、建
物全体を2周わりながら全てのエリアに行
くことができる。

特に中庭のスロープは、成長の象徴と
なる中心の木を真ん中にしながら登
っていくことができる構造により、気
づかないうちに共に成長していく
親子を表現している。



交流を生む大階段

1階の、外壁と中庭によりできるくびれの部分から始
まる2階へと続く大階段は、上の階へ登るツールとし
ての役割のみでなく、そこに腰掛けたりくつろいだり
出来る居場所としても機能する。親、子ども、どちら
もが階段をゆっくりと上りながら、色々な目線から

建物内や中庭を眺めることができる。

吹き抜けの大空間に広がる、ゆとりある大階段。
思わず上へ向かう足を止めて、座りたくなるような包
容力のある空間となっている